

東京支部だより

第16号

平成19年9月10日発行

工学院大学校友会
東京支部
TEL 03-3342-2064
FAX 03-3342-2035

八王子キャンパスにて開催の 理科教室 風景



表紙・もくじ	 1
支部長挨拶	若林 勝 司 2
校友会会長挨拶	長 嶋 秀 世 3
親睦旅行会の報告	三 宅 捷 夫 4
生涯学習講座の案内	小 嶋 正 弘 5
学園の現況	横 山 修 一 6
学園施設整備の現況	柴 田 卓 次 7
全国大会のご案内	芳 田 眞 喜 人 8

サークル紹介	囲碁・将棋	 9
〃	俳句	10
〃	ゴルフ・経営研究	11
〃	社会見学	12
〃	写真	13
総会資料		14
〃		15
役員名簿・あとがき		16

第10号

平成19年10月10日発行

工学院大学校友会
東京支部
TEL 03-5337-8801
FAX 03-5337-8810

支部長 若林 勝司

(高校 普通科 S43 年卒)



—— 去年は東京支部、設立 15 周年を無事に迎えることができました。振り返れば休眠状態にあった都内並びに都下各支部の衰退を憂い、当時の校友会組織部の御発声で、学園の膝元の支部活動の要として強化、再生が図られました。皆様の多大なるご支援とご協力を持ちまして、サークル活動を始め、さまざまな活動と交流を推し進めることができました。特に、工学院大学後援会東京支部との相互交流は、今後も大いに推進していきたいと考えております。

15 周年支部総会につきましては、本学園の開祖であり、東京府知事、東京帝国大学初代総長を歴任された渡辺洪基先生と、ご息女の渡辺玉花先生（画家）を偲び、当学園理事長の大橋秀雄先生と、青山長谷寺（あおやまちょうこくじ）後堂、金原東英ご老師をお招きして、特別後援会と玉花先生の遺作である学園保管の源氏物語をテーマにした日本画のお披露目も併せて、参加者の皆様にご高覧頂けました。

私事ではありますが、このたびのご縁で渡辺洪基先生の菩提寺、青山、長谷寺の高橋副管長先生のお計らいで檀家の端に加えさせて頂きました。

これからも、一期一会を大切に、東京支部の活動をしてまいります。



渡辺洪基先生のお墓と顕彰碑



金原ご老師による記念公演

勤務先：交通システム電機株式会社

(TEL 03-5337-8801 FAX 03-5337-8810)



夫對宇三
(卒平 S12)

校友会会長 長嶋秀世
(大学 電子工学コース S39 年卒)



卒業生いろいろ

七夕飾りが風に揺れ、短冊にはありきたりのことが書かれている。願いを胸に秘め、せめて**カッサンドラ**にならぬよう願うばかりだ。

私事で恐縮だが、私は来年の3月で大学を2度目の卒業になる。38年の長い間、学生と共に過ごしてきた。最初の頃の卒業生は私と年が近いので、何人かはもうすでに定年退職している。研究室の卒業生には、新入員からはじめて有名企業の社長になった人や会社を興し、今も華々しく活動している社長が5人いて、私より遥かに良い生活をしている（羨ましい、しかし嬉しい）。さらに、東芝や日本電気、HPの技術本部長などもいて、部課長だと多くて何人いるか把握できない。また、大学の教員も教授の6人を含めて10人いる。私の研究室だけでこれだけいるので全部合わせたら計り知れない。もちろん、上場企業の社長、副社長の経験者を数えたら両手の指では足りない。このように、卒業生の中には立派な方がたくさんいる。

これらの人々は工学院大学に感謝し、良い学生がいたらいつでも採用しますと言う。しかし、残念なことに、中には周囲の人に大学名を名乗らず、母校を蔑む人があることも事実だ。

卒業生は大学の鏡であると理事長は言っている。卒業生には頑張って社会で活躍してもらいたい。

なにせ、永遠に学園とは縁が切れないのだから。



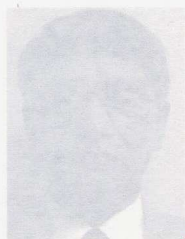
研究室の卒業生たちと

編集子 注釈

カッサンドラ(cassandra)とはギリシャ神話の、トロイの王女。予言能力があったが誰からも信じてもらえなかった悲運の王女。不吉の予言師、カッサンドラとも言われている。

日1月1年91五平

合業員全、台壁風瀬川白



校友会・東京支部

副支部長 三宅 捷夫

(大学 建築設備工学コース S42 年卒)



今年の旅行会は、俳句サークル、東京俳好会の池谷会長の発案で、J.T.B 企画「飛騨高山・白川郷から金沢一泊」の旅に決まり、7月1日(日)・2日(月)の両日、校友26名の他、池谷会長をはじめ5名の俳好会員がお世話になっている銀河のお仲間13名が加わり、総勢39名の「合同吟行」になりました。一日目は新宿センタービル前に集合し、午前7時、J.T.B 手配の大型観光バスにて一路飛騨高山へ向かいました。バスの乗り心地は上々で途中、双葉SA、風穴の里、高山市内等で小休止の後、白川郷に到着、手配のマイクロバス2台に分譲し、集落を見降ろす展望台へ向かいました。当日は朝から、降ったり止んだりの天候で、傘が手放せない状態でしたが、集合写真を撮る頃は雨も上がり、良い写真を撮ることが出来ました。集落を散策の後、バスに戻り、宿へ到着までの間、皆、難しい顔をして宙をにらみ、思い思いに句をひねる苦行(作句)に取り組み、26名の方々が投句されました。夕食は「カニ、寿司食べ放題のバイキング」で、北陸の味を十分堪能することが出来ました。夕食後、約一時間の後、二次会(句会)が開催され、全員参加のもとで選句をして頂き、和気藹々のうちに親睦を結ぶことが出来ました。池谷会長の発案で、全員に参加賞、天賞に景品を頂けるなど…嬉しいハプニングに恵まれました。句会は和やかに、軽く一杯飲みながら、選句を楽しむことが出来ました。部屋に戻り、お風呂に入ったり、杯を重ねて語り合うなど、めいめい、思い思いに時を過ごせました。二日目は朝食後、8時に宿を出発、生憎の雨の中、兼六園を散策の後、加賀市で小休止、北陸自動車道で富山に向かい、一般国道で平湯経由、松本ICから長野自動車道に入り、中央自動車道を経て、一路新宿を目指しました。昼食は第一日目「飛騨牛肉弁当」、第二日目「鯖の棒寿司弁当」、夜食は「おばあちゃん山の山菜弁当」、等々、土地土地の味を堪能する「豪華版」で十分楽しむことが出来ました。バスは午後8時15分、無事、新宿センタービルに到着、全走行距離1,200km余、非常に快適で有意義な旅を楽しむことが出来ました。

今回参加出来なかった俳好会会員の石成和男氏及び内山御夫妻、岩田俊二氏から寄付を頂き、また、参加の若林勝司氏からも多額の寄付を頂戴し、参加の我々が楽しませて頂いたこと、紙面を借りて厚く御礼申し上げます。



平成19年7月1日

白川郷展望台で、全員集合

水清き
集落に咲く
白睡蓮
捷夫



高野山教学部 真言宗・真弘会

副会長 小嶋 正弘

(専修 建築科 S31 年卒)



工学院大学校友会東京支部の皆様へ生涯学習講座のご案内を申し上げます。

世界文化遺産高野山に在る高野山大学では、社会に開かれた大学として、また生涯学習の場として各種の講座を国内各地で開催して参りました。今年度は、高野山の夏季講座のみとなり、「生涯学習講座 in 高野山・いのちを学ぶ」と題し3日間に亘り、高野山大学・松下講堂黎明館で開催することになりました。国内各地で受講して頂いた皆様にはご迷惑をかけますが、高野山の快適な環境のもと、多くの皆様に受講して頂きたいと希っております。

生涯講座の内容は一般の方達を対象に行っていますので、理解し易く、心が豊かになる話題ばかりで、学問としての密教、幅広い異国の文化やその歴史の紹介、医療との係わり、心のケア、などを中心に開講しております。来夏は避暑と観光を兼ねて、是非、高野山大学の「生涯学習講座 in 高野山」をお楽しみください。

この『支部だより』がお手元に届く頃は、今年度の講座は終わっておりますが、下記に「平成19年度の生涯学習講座」「第4回医療フォーラム」の内容を記しておきます。

生涯学習講座 in 高野山

8/27 (月) 「いのちの多様性とスピリチュアリティの向上」「弘法大師の人間学」

8/28 (火) 「弘法大師の生涯と芸術」「弘法大師の教えと生涯」

8/29 (水) 「仏教(密教)との心のケア」「瞑想による心の安定」

高野山体験 (自由参加)

8/31 (金) 「金剛峰寺見学・数息観(瞑想法)・伽藍参拝・霊宝館見学・写経・奥の院参拝」

21世紀高野山医療フォーラム・生と死が手を結ぶには・現代医療とスピリチュアリティ

9/1 (土) 「養老孟司が考えるスピリチュアリティ」「エンド・オブ・ライフケア」

「弘法大師空海にみる生と死」「病者のこころをみつめて」

「ビジュアルによる神秘体験」「スピリチュアルケアの実際」

9/2 (日) 「わが国のスピリチュアルケア提供者の現状と課題」

「医療者育成の課題・専門性と内面的成熟」「スピリチュアリティと尊厳死」

●高野山では、工学院大学校友会の皆様のご参加をお待ちしております。

*詳細につきましては、高野山大学生涯学習講座係 0736-56-2921 へお問い合わせ下さい。

(東京連絡先 03-3308-4602 小嶋正弘)

学園の現況について

○ 学園の各学校在籍者数（平成 19 年 5 月 1 日現在）



工学院大学 学長補佐
電気工学科教授 横山 修一
(大学 電気工学科 S43 年卒)



工学院大学大学院生徒数

大 学 院			機械工学 専攻	化学応用学 専攻	電気・電子 工学専攻	情報学専攻	建築学専攻	合 計	前 年 同 月 比
	修士	博士	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	7 年
			73	44	50	25	69	261	2
			75	43	47	20	75	260	6
			計	148	87	97	45	144	8
			1 年	0	1	2	3	8	-3
			2 年	3	2	1	4	11	4
			3 年	2	1	1	3	8	-2
			計	5	4	4	10	27	-1
			合 計	153	91	101	49	154	7

大学院合計	前月比	5 月比
548	0	

工学院大学学生生徒数

大 学			1 年	2 年	3 年	4 年	合 計
	1 部	2 部	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計
	機械工学科		172	151	164	146	633
	機械システム工学科		101	106	92	93	392
	国際基礎工学科		0	0	64	54	118
	機械工学科	機械コース	0	0	0	1	1
	機械工学科	国際コース	0	0	0	0	0
	応用化学科		129	115	95	91	430
	環境化学工学科		82	49	81	82	294
	マテリアル科学科		56	45	70	80	251
	電気工学科		0	1	124	134	259
	電子工学科		0	3	106	133	242
	情報工学科		0	2	173	158	333
	電気システム工学科		116	98	0	0	214
	情報通信工学科		111	94	0	0	205
	建築学	建築学コース	0	150	111	167	428
	建築学	建築コース	0	0	0	19	19
	建築学	建築学科	205	0	0	0	205
	建築学	環境建築コース	0	46	58	74	178
	建築学	環境コース	0	0	0	10	10
	建築都市デザイン学科		95	98	95	93	381
	情報学部	コンピュータ科学科	118	123	0	0	241
	情報学部	情報デザイン学科	121	113	0	0	234
	GE 学部	機械創造工学科	81	73	0	0	154
	合 計		1,387	1,267	1,233	1,335	5,222

2 部	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計
	1 年	2 年	3 年	4 年	合 計
機械システムデザイン学科	16	21	29	67	133
機械工学科	0	0	0	2	2
化学応用デザイン学科	10	11	17	46	84
工業化学科	0	0	0	0	0
電気電子情報工学科					
電気工学コース	0	0	11	9	20
電子工学コース	0	0	8	20	28
情報工学コース	0	0	27	51	78
電気工学科					
電気工学コース	0	0	0	0	0
電子工学コース	0	0	0	1	1
情報工学コース	0	0	0	3	3
情報メディア工学科	26	23	0	0	49
建築学科	33	55	86	131	305
合 計	85	110	178	330	703

大学第 1 部・第 2 部合計		前月比	5 月比	前年同月比
5,925		-87		大学 1 部 146
				大学 2 部 -141
				大学合計 5

中学高等学校生徒数

高 等 学 校			前 年 同 月 比	前月比	5 月比
	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年
	303	310	306	21	0
	18	-4	43		
	919	21	0	0	

中 学 校	1 年	2 年	3 年	合 計	前月比	5 月比
	1 年	2 年	3 年	合 計	前月比	5 月比
	77	78	76	231	-1	0
	0	7	6	0	0	0
	1,150	-2				

教職員合計		前月比
441		0

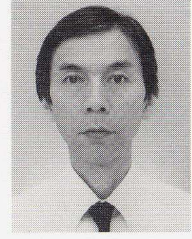
学生・生徒数総計		前年同月比	前月比	5 月比
7,635		-149	-89	



学園施設部（施設管理課長兼務）

次長 柴田 卓次

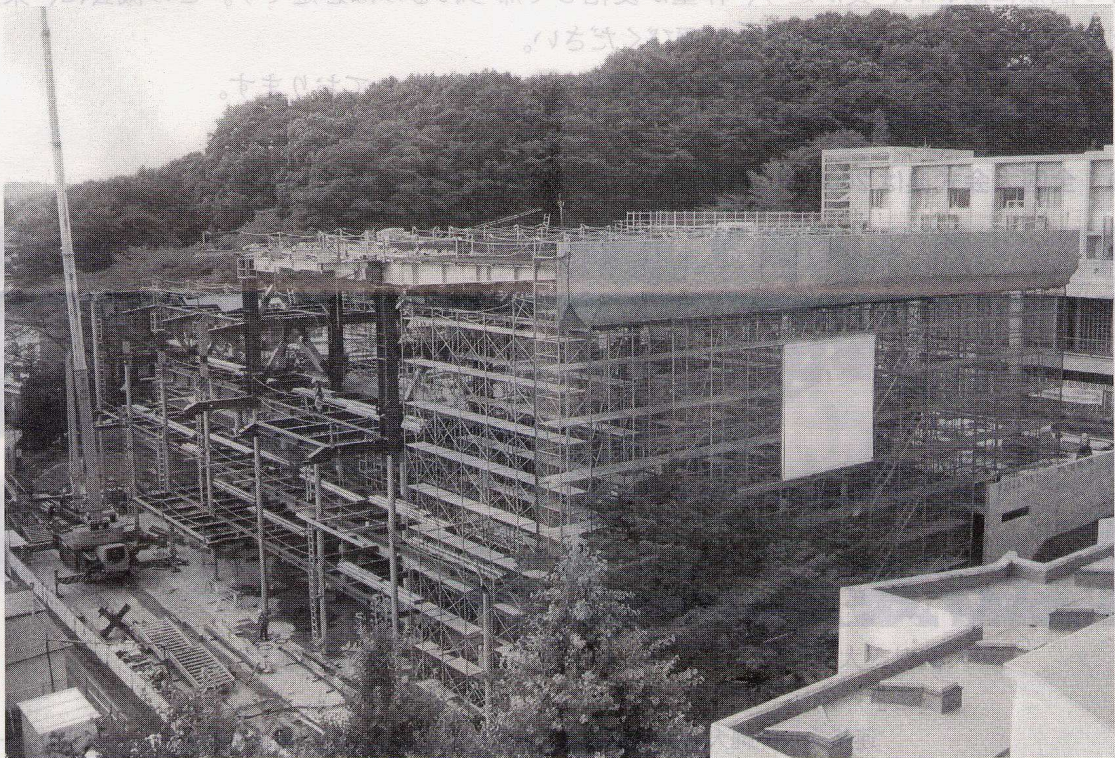
（大学 建築学科 S52 年卒）



スチューデント・センターの建設

八王子校地ではスチューデント・センターの建設が進められています。この建物は2005年に実施された設計プロポーザルの最優秀案をもとにしたもので、食堂を中心とした厚生施設となっています。建物構成は4階建てで、最下層には学生の課題制作のためのクリエイションラボと、300人収容の多目的ホールがあります。その上部にはカフェ、食堂があり、最上階に就職支援センター、学生自治会室があります。また、車椅子の通行を考慮し隣接する校舎とブリッジで連結されています。各階には外部に張り出した「オープンステップテラス」と呼ばれる半外部空間があります。それらは上下につながり、外部からのアクセス、緊急時の避難動線を確保し、外観に軽快なリズムを与えています。そのほか、建物建設の進行に合わせ、実際に食堂のガラスに取り付けるステンドグラスの部品を作る自由参加のワークショップを行えたり、校友会・建築系学科同窓会主催による学生、大学院生対象の食堂家具デザインコンペティションが実施されるなど、在校生が参加できる場が設定され、思い出に残る校舎となるよう工夫されています。

●スチューデント・センターは2007年11月末に竣工します。



- ・建設中のスチューデント・センター（2007年7月撮影）
- ・建物概要：設計・監理 澤岡清秀＋山本・堀アーキテツ設計共同体
- ・構造：鉄骨造4階建、面積5,500㎡



校友会・沖縄県支部

支部長 芳田 眞喜人

(大学 電気工学科 S45 年卒)



沖縄にいらっしやい!!

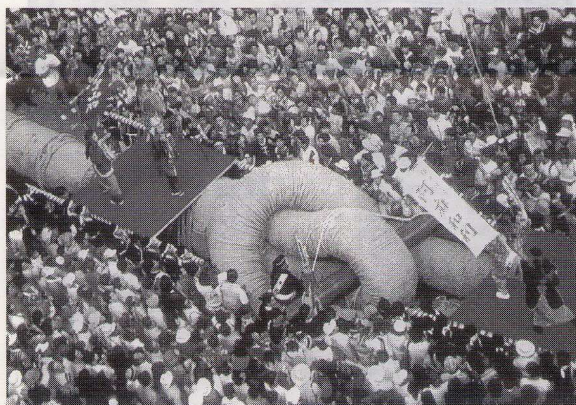
第16回の全国大会が、平成20年10月11日(土)に、遥か琉球列島・沖縄の地で開催されることになりました。この時期は世界最大の大綱が踊る「那覇大綱挽き」の開催中でもあります。「那覇大綱挽き」は、他の地域で行われる綱引きとは異なり琉球王朝時代から国家的慶事や中国の親善大使を歓待する為に行われた350余年もの歴史を誇る伝統の綱挽きです。全国大会当日前後は、那覇市内国際通り「久茂地交差点」を中心に東西に別れ、黒装束に身を包んだ男達が集落毎の旗頭を高く振りかざし国際通りを練り歩くことに始まり、爆竹が弾け、銅鑼の音が響き、闘いの火蓋がきられます。黒装束の男達に混じり地元客や観光客も加わって綱を挽き、その姿は圧巻で多くの人々を楽しませてくれます。沖縄の人たちが集落の誇りと意地を賭けたもので一見の価値があります。是非、ご来沖のうえ、ゆっくりお楽しみ下さい。

健康に良いものばかり!!

沖縄は、食通の皆さんにご満足いただける「新鮮な魚貝」、「南国ならではの果実」、「豚料理」など山海の健康食材が豊富です。酒好きには堪らない「泡盛」をはじめ、琉球独特の酒類に誘われ、食が進み、体重が変化して帰られるのは必定了。この機会に、東京支部の皆様 是非、沖縄へ足をお運びください。

沖縄県支部 役員一同、心より校友の皆様を お待ちいたしております。

◎ 全国大会式典は2008.10.11.(土)、詳細は後刻お知らせいたします。



大綱引き大会の様子



沖縄の風物 シーサ

連絡先：沖縄大会実行委員会事務局 〒903-0117 沖縄県中頭郡西原町翁長 920-57

TEL & FAX 098-946-7062